

実施状況報告

事業名	2011「青少年のための科学の祭典」八幡浜大会
実施主体名	2011「青少年のための科学の祭典」八幡浜大会実行委員会
日時	平成23年11月19日(土) 9:30～16:00
場所	八幡浜市民スポーツセンター
参加者	幼児・児童・生徒・市民等 3,341名

「不思議な科学ショーで感動の体験をしてみませんか？」のキャッチフレーズのもと、八幡浜市内の小中学校・高等学校、愛媛県総合教育センターや大学の先生方、一般の方々が中心となって、科学の祭典が実施されました。

この祭典は、子どもたちに発見と創造の喜びを体感させ、少しでも理科嫌い・理科離れ現象をなくしていくことがねらいの一つです。

今年は、昨年よりブース数が増え、全部で41も出展されました。「カルメ焼きをつくろう」「作ろうプラ板アクセサリ」「電動機関車で遊ぼう!」「“からくりひも”を作ろう」など、各ブースにおいて子どもたちの驚きや感動の声が会場にあふれていました。

ステージショーでは、えひめ科学ゆめ塾研究所塾長・所長の加藤隆弘さんによる「加藤先生のおもしろ実験～発光ダイオードのすばらしさ～」が披露され、子どもたちを魅了していました。

市内の小中学生による理科作品の展示や発表も興味深いものでした。悪天候での開催ではあったのですが、昨年より大幅に入場者数が増え、約3,300人を超すなど、会場内は子どもたちの歓声と熱気に満ち溢れていました。

事後のアンケートでも、「来年もぜひ実施してほしい」「たいへん勉強になった」「驚きの連続だった」「理科が好きになった」などの声が多く寄せられました。

子どもたちが、自分の目で見、触れて、体験することで、科学のおもしろさや不思議さを十分味わうことができ、有意義な一日になったと思います。

特に、子どもたちの表情やしぐさに満足感や充実感を感じ取ることができ、大きな収穫となりました。

